

(様式例)

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・表やグラフ、映像等 ICT の活用を積極的に行うことで、知識の定着を図ることができた。
- ・学年の実態に応じた資料を準備し、資料を読み取る学習活動を通して、「目的と手段」や「原因と結果」、「地理的・時間的な移り変わり」などの関係を資料から考えることができた。分かったことを比較したり関連付けたりして根拠をもって考えることができるようになってきている。

(2) 課題

- ・学習したことに対して、自ら課題を見出したり、自分なりの考えをもって表現したりすることに課題が残った。
- ・資料から読み取れることなどを伝える活動にとどまっており、それぞれの考えを積極的に交流する経験が不足している。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none">○「知識・技能」 目標値よりも6.1ポイント、全国の平均よりも6.4ポイント上回っている。○「思考・判断・表現」 目標値よりも13.1ポイント上回っており、良好と言える。しかし、観点別正答率では一番低い結果になっているため、課題であると考えられる。○「主体的に学習に取り組む態度」 目標値より14.3ポイント、全国の平均よりも8.9ポイント上回っている。		
第5学年	<ul style="list-style-type: none">○ほとんどの領域において、目標値と同等、上回っている。○地図やグラフなどの	<ul style="list-style-type: none">○ほとんどの領域において目標値と同等、上回っている。○グラフから読み取る	

	<p>資料の読み取りは、ほとんどの問題で目標値を10ポイント以上上回っており、技能の定着が見られる。</p> <p>○「自然災害から暮らしを守る（地震）」に関する問題は、目標値、全国平均と同等である。</p> <p>○廃棄物の処理の工夫についての理解は、目標値を下回った。</p>	<p>問題では、10ポイント程度上回っており、技能の定着が見られる。</p> <p>○資料から災害時の活動とその理由を表現する問題は、目標値を下回った。</p> <p>(第4学年時)</p>	
第6学年	<p>○全領域において、目標値、区の平均正答率を上回っている。</p> <p>○領域別では、「国土の自然環境と国民生活」で、区の平均正答率を11.1ポイント上回っている。</p> <p>○観点別では、「知識・技能」が、区の平均正答率を9.4ポイント上回っている。</p>	<p>○ほとんどの領域において目標値と同等、上回っている。</p> <p>○グラフから読み取る問題では、10ポイント程度上回っており、技能の定着が見られる。</p> <p>○資料から災害時の活動とその理由を表現する問題は、目標値を下回った。</p> <p>(第5学年時)</p>	<p>○全領域において、目標値、前年度、全国正答率の全てを上回っている。</p> <p>○ほとんど全ての内容で目標値を大きく上回っている。ただし、目標値と同値の内容が5項目あった。</p> <p>(第4学年時)</p>

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取りの問題は、ほとんどの問題で5ポイント以上上回っており、技能の定着が見られる。 他の領域よりも正答率が低い領域がある。安全に関する領域の火事が起きたときの出動の仕組みについて、資料を読み取り、選択する問題の正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 「市の様子の移り変わり」は、目標値を4ポイント程度上回るのみで、他の領域と比較して、低い数値になっている。考えを表現する点に課題があると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの領域において目標値を上回っているため、概ね良好と言える。 地域社会に目を向け、意欲的に調べようとしている。 単元の学習問題について予想を立て、解決しようとする取り組みの児童が多い。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区、全国平均正答率を10ポイント以上上回っており、良好と言える。 ・区の正答率については9.4ポイント上回る結果となり、概ね良好と言える。知識・技能の定着に関しては概ね良好といえる。しかし、「日本の国土と人々の暮らし」では、目標値を下回る問題もあったので、指導の改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区、全国平均正答率を上回っており、概ね良好と言える。 ・区の正答率を6.2ポイント上回る結果となった。しかし、「日本の水産業」では、資料を基に考える問題で目標値を下回っていたため、指導の改善が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値、区、全国平均正答率を上回っており、概ね良好と言える。 ・地形の様子と関連付けて考える問題は目標値を3ポイント下回っており、苦手な児童がいると思われる。 ・区の平均正答率を8.1ポイント上回っていた。問題別で見ても目標値を上回っているため、概ね良好と言える。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「安全な暮らし」の学習では、火事が起きたときの出動の仕組みや、交番の役割について、実際に消防や警察の方の話を聞く活動を通して、より理解を深めていく。 ・ICTを活用し、資料の読み取りに慣れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことをまとめる際、情報の精選ができるよう丁寧な指導を行う。 ・「安全な暮らし」等の学習の中で、資料から読み取ったことを話し合ったり、それを基に自分の考えを表現したりするなどの場を意図的に設ける。 ・学年の実態に応じて、思考力を伸ばすための資料を準備し、児童が根拠をもって自分の考えをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画などの教材をさらに取り入れ、視覚的にも理解できるように指導の工夫をしていく。 ・「安全な暮らし」等の学習の中で、学習したことと生活の結びつきを実感できるようにするとともに、新たに課題を見出して解決していくような学習の流れを工夫する。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からグラフや資料を用いて学習を進めていくことで、資料から読み取る力を高めていく。 ・資料を見る視点を明確にし、正確に読み取れるよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考の整理をしやすくするために、提示する資料の精選をする。 ・資料から読み取るだけでなく、そこから自分が考えたことを表現し、周囲と交 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と主体的な意見交流が行えるよう、視覚的に内容が理解できるような教材を用意する。 ・児童一人一人が粘り強く取り組むことができる課題

<p>にする。</p> <ul style="list-style-type: none">• ICT の活用等により、高いポイント水準を保つことができているため、今後も継続していく。	<p>流するような授業展開にする。資料をもとに、自分が考えたことを周囲と話し合う活動を通して、児童一人一人の思考を深め、表現する力を高めていく。</p>	<p>設定を工夫する。加えて、課題の提出の仕方について、ノートやワークシートのみならず、ICT 機器のさまざまなアプリケーションを活用することで、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。</p>
--	--	--